

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ⑤⑥

橘町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡をクリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和8年8月1日
責任者：吉野 勝美
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

ふたまたくちょう 二俣区長
あいかわ 相川
としはる 敏治さん



当時（1172年頃）の肥前国
ばおさえとったのが日向太郎
という人やったらしいね。
あの有名な清盛さんと、この橘が深い
関係にあったことも、も・ちょっと詳
しく説明してくれんね？

今月号は、「^{ひゅうがたろう}日向太郎と^{きよもり}清盛」のテ
ーマで説明してくんしゃい。

前月号の鳴瀬の区長さんのとこ
ろは、途中までだったね。
では、続きを、年を追ってやるね。



●1121～1124年まで「奉免状」
が「検田所★①」というところから出さ
れているよ。

●次に1125～約30年間は武雄社
^{ほうめんじょう}への奉免状がないから、実力者の荘
園★②ができたと思われるね

●1156年に保元の乱がおきると、
平家が台頭して、**清盛さんが政権を**
^{きゅうじ}**牛耳る★③**ようになったんだ

●1159年、肥前で**日向太郎の乱★④**が
^{ひゅうがみちよし}起る。この人は、日向通良とも呼ば
れ、杵島で乱を起こしたとされる人。

●同年、武雄社への^{ほうめん}奉免再開★⑤

●1160年、郡衙（公の役所）から^{しょうが}荘衙
★⑥（荘園の管理組織）に変更

●1167年、**清盛が杵島に大功田★⑦**を
得る

●1172年、長嶋庄が^{れんげおういんりょう}蓮華王院領とな
る★⑧。公業さんが来た時（1237）には、
現地に王院領を管理する役人がいたん
だ。後藤氏もその内の一人なんだ。

●主な登場人物



日向太郎親子



平清盛



橘以政



武雄宮司

今回も、そうとうにややこしいわよ。
興味がワクかしら？？？
中身がテンコ盛りで、ごめんなさいねエ



★① 「検田所」奉免

1121年から1124年までは、
毎年「奉免状」が「検田所」
という所から出されている
ワ。この検田所は、郡役所
の関係と考えられるので、
AIに描かせたら右のようにな
ったの。



郡役所の役人関係者が実地検分

この部分が変った

★② 実力者の荘園へ

1125年から1158年までの
約30年間は、武雄神社への
奉免状がないのね。
だから、服部先生は「神社へ
の寄進を止めることのできる
強力な実力者がいた」と考え
られてるワ。後の蓮華王院領
長島庄ではなく「前荘園」段
階とされているワヨ。



荘園関係者が直接百姓へ指示

★③平清盛の台頭

右の図は、^{だいさいだいに}平清盛が太宰大式
（大宰府庁の長官）に就任し、
その^{もつまさ}部下に橘以政がなって、
武雄神社の宮司に「下文（く
だしふみ）を渡している図。
もちろん、清盛さんは長官に
なっても博多へは来なくて、^{もつまさ}以政さんに仕事をさせたのね。
肥前に目をつけたのは**日宋貿易を独占**するためなの。



大宰府政庁執務室



★④日向太郎（通良）の乱

日向太郎通良は、平安時代の後期（十一世紀の中頃）に、三根郡（現在は、佐賀県三養基郡）の綾部の 荘 に藤原氏の一族が土着して代々綾部の姓を名乗った一族の子孫なの。

1159 年 通良が肥前で平清盛に反旗を 翻 す



京都大学歴史研究会より一部抜粋して紹介するわね

『通良は源義朝に呼応して兵を挙げたようである。清盛は平家貞を派遣してこれを追討させた。通良は綾部城に立て籠もり、その後杵島山の稲佐城に移って戦ったが翌延暦元年四月に敗死した。このとき通良の男子 6 人の内 3 人も戦死したが、四男以下は落ち延びた』って書いてあるわ。

★⑤武雄社への奉免再開

通良さんが敗死した年に、武雄神社へ奉免（寄進）が復活したわ。これには郡衙が関係しているから、橘以政さんが大宰府から遠隔操作をしたんだと思うわ。その指示を出している想像図が右の絵ね。以政さんの気持ちは？

★⑥1160 年、郡衙から庄衙の管理へ変更

翌年には、奉免状の発給者が郡衙から庄政所になっているから、これは、もう清盛さんの圧力で蓮華王院領の準備が進んでいると考えてよいわね。

★ 1164 年 清盛が蓮華王院を造営

蓮華王院の最初の建物は、1154 年に完成したわ。という事は、その前から清盛さんは蓮華王院造営を準備していたはずね。

★⑦1167 年、清盛が杵島に大功田

大功は永久的な私有を認めた例外中の例外と言って良く、歴史上確認できるのは、藤原鎌足（645 年）・恵美押勝（758 年）・平清盛（1167 年）・源頼朝（1190 年）の 4 人だけなの。清盛さんは、1167 年 2 月、清盛は太政大臣になって、それまでの活躍が認められて大功田を得たのね。んだけど、それが私たちの杵島だったって、驚きヨねえ！

綾部城や稲佐城で戦うが、むなしく敗死



綾部城にこもる図



捕らわれる通良親子



日向太郎の乱鎮圧後、肥前長嶋庄の清盛直轄領化の指示



ワタシは、清盛様の意をくんで、九州を治めるためにやってきました。だから、太郎の荘園は清盛様に差し上げないといけないんです…。

◎こうして清盛による肥前支配が進むと・・・

杵島が清盛さんの意向で蓮華王院領として準備がすすめられると、それまで点在していた地域の荘園主たちは、困ってしまいました。その証拠が、武雄神社に文書が残っているわ。右の図は、武雄神社宮司藤原家門が大宰府に訴えを出している AI 想像図なの。

家門さんは、一定の権利は日向太郎の乱直後は認められていたんだけど、後には権利が小さくなっていくワ。

★⑧1172 年、蓮華王院領として長島荘成立

独り言 「長島荘成立過程を 2 枚では超むつかしい!!」

